2013年4月改訂
(使用上の注意)

服用前にこの説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう保管してください。

第2類医薬品

1646
Ⓓ(0413)

牛黄(和漢薬)配合

かぜ薬

# プロピンゴールドカプセルA

**【特徴】**
「かぜ」は寒さやアレルギー因子、細菌ウイルスなどが原因となって起こり、発熱、頭痛、鼻みず、せきなどさまざまな症状があらわれます。
**プロピンゴールドカプセルA** は、解熱鎮痛薬、鎮咳薬、抗ヒスタミン薬および動物生薬などを配合し、かぜの諸症状にすぐれた効果をあらわします。

## ⚠ 使用上の注意

### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

**1．次の人は服用しないでください。**
(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

**2．本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください。**
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）

**3．服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。**(眠気等があらわれることがある。)

**4．授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。**

**5．服用前後は飲酒しないでください。**

**6．長期連用しないでください。**

### 相談すること

**1．次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。**
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 水痘（水ぼうそう）若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児（15歳未満)。
(4) 高齢者。
(5) 薬などによりアレルギー症状やぜんそくを起こしたことがある人。
(6) 次の症状のある人。高熱、排尿困難
(7) 次の診断を受けた人。
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障

**2．服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。**

| 関係部位 | 症　　状 |
|---|---|
| 皮膚 | 発疹・発赤、かゆみ |
| 消化器 | 吐き気・嘔吐、食欲不振 |
| 精神神経系 | めまい |
| 泌尿器 | 排尿困難 |
| その他 | 過度の体温低下 |

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

| 症状の名称 | 症　　状 |
|---|---|
| ショック<br>(アナフィラキシー) | 服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。 |
| 皮膚粘膜眼症候群<br>(スティーブンス・ジョンソン症候群)、<br>中毒性表皮壊死融解症、<br>急性汎発性発疹性膿疱症 | 高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。 |
| 肝機能障害 | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。 |
| 間質性肺炎 | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。 |
| 腎障害 | 発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。 |
| ぜんそく | 息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。 |
| 再生不良性貧血 | 青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。 |
| 無顆粒球症 | 突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。 |

**3．服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。**

便秘、口のかわき、眠気

**4．5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。**

## 効能・効果

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和。

## 用法・用量

大人（15歳以上）……1回2カプセル　　7歳以上15歳未満……1回1カプセル

いずれも1日3回、食後なるべく30分以内に服用する。7歳未満は、服用しないこと。

**＜用法・用量に関連する注意＞**

(1) 本剤は定められた用法・用量を厳守してください。

(2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

(3) カプセルの取出し方：右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります)

〈PTPシートの取り出し図〉

## 成分・分量　1日量（6カプセル）中

アセトアミノフェン……660.0mg・エテンザミド……400.0mg

無水カフェイン……75.0mg・ジヒドロコデインリン酸塩……16.0mg

dl－メチルエフェドリン塩酸塩……60.0mg・クロルフェニラミンマレイン酸塩……7.5mg

ゴオウ……3.0mg

添加物として、バレイショデンプン、タルク、ラウリル硫酸Na、ゼラチン、黄色４号（タートラジン）、黄色５号、その他２成分を含有する。

## 保管及び取扱い上の注意

(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。

(2) 小児の手の届かない所に保管してください。

(3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わる。)

(4) 配置期限をすぎた製品は服用しないでください。

製造販売元
**内外薬品株式会社**
富山県富山市三番町3-10

本品についてのお問い合わせは、下記にお願いいたします。
内外薬品株式会社　お客様相談窓口　富山県富山市三番町３－10
☎076(421)5531　受付時間 9:00～17:00（土、日、祝日を除く）